

## 雨中の尾張決戦を制する

### セイウンコウセイ号高松宮記念優勝

3月26日、中京競馬場で開催された「第47回 高松宮記念」(GI 芝1200m)で(有)桜井牧場生産のセイウンコウセイ号(牡4歳 父アドマイヤムーン 母オブザーヴァント)が、2着レッツゴードンキに1馬身4分の1の差をつけ優勝し、新たなスプリントチャンピオンに輝きました。戦前評価の「混戦」に拍車をかけるように小雨が降り続き、馬場状態までも不安定な状態となり、単勝オッズ10倍以下に6頭がひしめき合う中、レースはスタートしました。

スムーズな発馬を決め先頭に立ちかけたセイウンコウセイですが、鞍上の幸英明騎手は慌てることなく手綱を引き、道中は4番手から5番手で我慢をさせ、レースを進めました。

最後の直線に向けたセイウンコウセイは、内ラチ沿いの1番人気レッドファルクスと2番人気レッツゴードンキの競り合いを横目に馬場の真ん中を力強く駆け抜け、見事を優勝を飾りました。



初のGI制覇おめでとうございます！



## 春から静内産馬が大活躍！

## 女王が桜花賞を戴冠

### レーヌミノル号桜花賞優勝

4月9日、阪神競馬場で開催された「第77回 桜花賞」(GI 芝1600m)で(有)フジワラファーム生産のレーヌミノル号(牝3歳 父ダイワメジャー 母ダイワエンジェル)が、2着リスクラシユーに2分の1馬身の差をつけ優勝し、牝馬クラシックの1冠目を戴冠しました。

今年の3歳牝馬の世代は、「稀に見るハイレベル」と言われており、レーヌミノルも2歳から活躍し、世代をけん引する1頭ではありましたが、当日は8番人気という評価に甘んじていました。

レースは、鞍上に勝負強さに定評のある池添謙一騎手を配して挑み、道中は先頭集団のやや後ろでレースを進めました。

最後の直線を手応え良く迎えたレーヌミノルは、勢いそのままに直線半ばで先頭に立ち、最後は急追するリスクラシユーを後目に「ゴール板を駆け抜け、フランス語で「女王」を意味する「レーヌ」の名の通り、桜の女王に輝きました。



皆さんで歓喜の万歳！

